

sweet heart project

“sweet heart” の生まれる場所から

トプコンから広がるやさしい想い

みなさん、クリスマスのシーズンの夜、足を伸ばすチャンスがあったら、東京の板橋区にある「トプコン」の本社に行って見てください。きれいなイルミネーションが敷地い～っぱいに広がっていて、目を楽しませてくれます。

2006年より毎年実施しており来場されるお子様にはお菓子が配られます。2020年のシーズンには300個用意したお菓子があつというまになくなってしまいました。

このお菓子、じつは、障がいがある方はたらいている施設でつくられたものだったのです。

そのお菓子は、やさしい心で施設で働く人たちを応援しようという企画の一環でした。

スイートハートプロジェクト

新型コロナウイルスの感染拡大は、世の中に大きなダメージを与えています。

ダメージの一つは、イベントの中止です。展示会、お祭り、学校の文化祭などなど。それらのイベントで施設のお菓子は売られてきました。それが、相次いで中止になってしまったのですから、施設はピンチです。はたらく障がいがある方たちの工賃が払えません。

SOSを受けて動き出したのが、スイートハートプロジェクトでした。

そして、声がかかったトプコンはすぐに手を挙げたのでした。



sweet heart project

ところで、トプコンって何の会社かご存じですか？

創業は1932年です。東証一部に上場しています。精密光学機器のメーカーです。グループの年商は1300億円あまりで、従業員は世界中におよそ5千人です。

けれど……、精密光学機器メーカーというけれど、何をつくってるの？　すぐに想像できたとしたら、そんなアナタはただ者ではありませんね。

みなさんの中には、テレビドラマ「下町ロケット」を見ていた方がいると思います。無人のトラクターが決められた場所を走行し、農作業をしてくれました。トラクターがGPS衛星から受信する情報で正確な位置をはかっているからできる、文字どおりの「離れ業」なのです。

たとえば建設現場のブルドーザー。これも、GPSの位置情報でロボットの様に動かすことができます。人手がなくても、人間が危険な作業をしなくても、機械がしてくれます。

農業のIT化は、この地球で私たちが生きていくうえで大切な課題解決のひとつです。農業の効率化は世界を食糧危機から救うことにつながるのですから。

建設現場でも、同じことが言えます。GPSの技術で建設機械をロボットの様にスムーズに動かせれば、熟練の技術が不要になります。作業の効率も上がることでしょう。

緑内障などの目の病気。発症するまえに病になる危険性をキャッチする。そんな目の健康を守る検査機器をトプコンは開発しています。

トプコンの[ホームページ](#)をのぞいてみましょう。主な製品として挙げられているものは、眼科用検査・診断機器、農業用の自動操舵システム、3次元計測機や建設機械のIT施工システム……。切れがありません。

先にも紹介しましたが、トプコンの創業は1932年、昭和7年です。その前年に満州事変が起こっています。世界が戦争に向かっていく中、陸軍からの要請を受けて「東京光学機械株式会社」が誕生、測量機、双眼鏡、カメラなどの生産を始めたのでした。

そして敗戦。焦土と化した日本の復興に、トプコンの測量機は大活躍。検眼機などの医療機器事業もスタートさせます。戦後早々海外にも進出、さらに世界のベンチャーとの提携や買収を進めてきました。

こうして、「い・しょく・じゅう」に不可欠な光学メーカーとなりました。衣食住、ではありません。医食住で～あります。

トプコンのホームページを、さらに見てみます。「TOPCON WAY（トプコン・ウェイ）」が掲げられています。

◎トプコンは「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。

◎トプコンは先端技術にこだわり、モノづくりを通じ、新たなを提供し続けます。

◎トプコンは多様性を尊重し、グローバルカンパニーとして行動します。

sweet heart project

◎トプコンはコンプライアンスを最優先し、全てのステークホルダーから信頼される存在であり続けます。

いわゆる経営理念です。従業員のみなさんにTOPCON WAYが書かれたカードが配布されています。従業員の血となり肉となっています。

この経営理念は、国連が2030年に向けた持続できる17の開発目標「SDGs」にだぶります。

1番目は「貧困をなくそう」、2番目は「飢餓をゼロに」、3番目は「すべての人に健康と福祉を」……、9番目は「産業と技術革新の基盤をつくろう」、10番目

は「人や国の不平等をなくす」……、そして17番目は「パートナーシップで目標を達成しよう」。

トプコンの事業、戦略はSDGsと重なることがおわかりだと思います。そして、もちろん、トプコンはSDGsを意識したわけではありません。結果としてそうなった、ということです。

総務の担当者は言います。

「社会的課題の解決に取り組まなければ、企業は生きていけません」

まさに高齢化に伴う眼疾患の増加、人口増加に伴う食糧不足への懸念、インフラの需要増に伴う技能者の不足などトプコンの取り組みはグローバルな社会的課題の解決に向けた取り組みなのです。

最後に、スイートハートプロジェクトに話を戻しましょう。ふたたび総務の担当者の話です。

「わたしたちにはダイバーシティ、すなわち多様性を尊重し、グローバルな医・食・住の社会的課題の解決に取り組むというベースがありますので、障がいがある方たちを支援するのは、ごく当たり前のことでした」

そして、2021年春。

トプコンは、地域密着の社会貢献として、まずは、地元板橋の障がい者支援施設の活動を応援するキャンペーンを、スイートハートプロジェクトといっしょにすすめます。障がいがある方のつくる素敵なお菓子やアート、どんなお仕事や活動をしているのか、などなど…。福祉のことをたくさんの人々に、トプコンからやさしい想いが広がっていくはずです。（了）



sweet heart project

株式会社トプコン (TOPCON CORPORATION)



本社所在地 〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町 75-1

<https://www.topcon.co.jp/>

03-3966-3141

代表者 代表取締役社長 平野 聰

設立 1932 年（昭和 7 年）9 月 1 日

資本金 16,680 百万円（2020 年 3 月末現在）

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

グループ会社 連結子会社 70 社、関連会社 11 社（2020 年 3 月末現在）

売上高（連結） 138,916 百万円（2020 年 3 月期）

社員数（連結） 4,939 名（2020 年 3 月末現在）

事業内容 ポジショニング（GNSS、マシンコントロールシステム、精密農業）、スマートインフラ（測量機器、3 次元計測）、アイケア（眼科用検査・診断・治療機器、眼科用ネットワークシステム、眼鏡店向け機器）等の製造・販売

sweet heart project

sweet heart project (<https://sweet-hearts.org>) について

sweet heart project 発足のきっかけは、木下財団の助成事業で訪問している障がい者支援施設の方との対話やアンケートでした。木下財団は戦後、日本最大級の鉄鋼商社となった木下産商（その後三井物産に吸収合併された）を創業した木下茂氏が昭和37年に設立したもので、戦地からの引揚者、貧しい地域の方々を対象とした無償の病院から始まりました。その後、助成事業に転換して以来、約60年間、障がい者支援団体への助成事業を続けていて、私も毎年、助成候補の障がい者支援施設を訪問しています。その時に、全国平均約160円/時間だった障がい者の方々の工賃がコロナの影響で50円まで落ち込んでしまったところもあるという悲痛な現状を知りました。とにかくできることを始めようと、財団のサポートを受けながら独立した形で、福祉のお菓子を応援するプロジェクトを2020年11月にスタートさせました。プロジェクトでは、パティシエなど様々な専門家の協力をいただきながら、美味しさや商品力を継続的に高めたり、原価を下げるために共同で材料を仕入れたりする仕組み作りに取り組み、また福祉のお菓子の素晴らしいを伝える活動をしています。

sweet heart project 実行委員長 東光篤子

sweet heart project 実行委員会

事務局

東京都中央区入船3-2-7-6F (木下財団内)

info@sweet-hearts.org 03-6222-8927

実行委員長

東光篤子 木下財団

実行委員

石坂典子	石坂産業株式会社代表取締役
梅若幸子	Umewaka International 代表取締役
遠藤泰介	パティスリーカメリア銀座
大久保公人	One Young World Japan Committee 理事長
大山泰	オウケイウェイヴ総研所長 (元フジテレビ経済担当解説委員)
片岡秀太郎	木下財団
倉島紀子	株式会社アー・マン・インク 代表取締役
篠根肇	セレス代表取締役

sweet heart project

嶋沢裕志 元日本経済新聞社編集委員
中島隆 朝日新聞社編集委員
ホシカワミナコ フリーランスエディター・ライター
安井孝之 Gemba Lab 代表取締役（元朝日新聞編集委員）
与謝野信 ロスジェネ支援団体パラダイムシフト代表
吉村信昭 グッゲンハイムパートナーズ代表取締役
渡辺秀人 渡辺広報事務所代表取締役

アドバイザー

大野伸 日本テレビ報道局統括プロデューサー
牧野義司 メディアオフィス時代刺激人代表（元ロイター日本語版編集長）
松岡健夫 産経新聞経済本部編集委員
山見博康 山見インテグレーター代表取締役、企業価値協会理事
渡部道雄 共同通信社 編集局 囲碁・将棋チーム編集長

パートナー

社会福祉法人 木下財団
一般社団法人 Arts and Creative Mind (ACM Gallery)
一般社団法人 AOAart
株式会社トプコン